自分もみんなも　明るく　うれしく　よかったね　　第139号

新井中央小だより

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/araich-s/otayori/index.html
ﾒｰﾙ　chuou@ac.city.myoko.niigata.jp

平成23年　10月14日

「自由と責任・・・大人が模範に」

教頭　宮澤忠明

[さあスタートだ！　10月3日　マラソン大会]

さわやかな季節になりました。９月29日の学習参観日、10月３日のマラソン大会には、多くの地域・保護者の皆様よりおいでいただきありがとうございました。おかげさまで、子どもたちも、元気いっぱい活動することができました。そして、10月22日には２学期一番の行事である文化祭を行います。皆様の御来校をお待ちしています。

さて、未成年者を含めた最近の若者の様子を見ていますと、自分の考えをしっかりもって行動している人もたくさんいますが、暴走する人も見られます。若さには特権があると言われますが、何をやっても良いというわけではありません。みんなが幸せに生活していくためには、秩序が必要です。自由が必要と言われますが、自分の自由が保障されるためには、他の人の自由も尊重しなくてはなりません。即ち、「権利」を自覚して「義務」を果たすことが民主主義の基本であり、自由には責任が伴うということです。

しかし、我々大人を含め、「○○が悪いから」、「△△がこう言ったから」と自分の責任や過ちを他人に転嫁することを多く見かけます。どんなときにも、自分の行動は自分の意志で決定し、失敗は自分で責任を負うという基本的な考えを身につけるところから良識が生まれてくると考えます。

子どもは、大人を見て育ちます。若者の行き過ぎた行動には、私達大人の行動にも原因があるのではないでしょうか。身近なところでは、交通マナーが挙げられます。大人の中には、子どもは信号を待っているのに赤信号でも平気で渡ってしまう人、通学路にもかかわらず歩道に乗り上げて駐車する人などもいます。他人の迷惑も省みず、自分の都合だけで行動する大人を子どもは見ています。そして、「みんな、自分さえよければと思っているのだから自分も・・・」という意識が育ち、エスカレートしていくのではないでしょうか。いつも見られていることを意識し、これから大人になっていく子どもたちの模範となるよう行動したいものです。

実 り の 秋（最近の様子から）

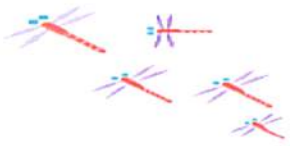
【今年も熱戦が繰り広げられました】

９月19日（月）、第６回中央小っ子カップ球技大会が行われました。ソフトバレーボール８チーム、ソフトボール６チームが参加しました。ソフトバレーボールは、先日設置されたＬＥＤ照明の下、２コートに分かれて、熱戦を繰り広げました。ソフトボールは、途中から小雨が降り出しましたが、声を掛け合いながらの走攻守の中で、ナイスプレーやファインプレー、ハッスルプレーが続出しました。

【あいさつ運動ありがとうございました】

９月21日（水）から行われた秋の「ＡＬＬ妙高」あいさつ運動は、大勢の皆様から御協力いただきありがとうございました。あいさつ運動期間が終わっても、進んであいさつができる子どもたちを育てていきたいと思います。

今後も、御家族や地域の皆様からのお声掛けをよろしくお願いいたします。



【真剣に考えました！】

９月29日、「人権教育、同和教育を学ぶ会」として、全学級での同和教育関連授業、講演会を行いました。各学級で、次のような授業を公開しました。

1年生　「なかまはずしはやめよう」

2年生　「不公平な言動に立ち向かう」

「勇気をもって声を出そう」「見ているだけでは解決しない」

3年生　「差別を許さず行動しよう」「友達のよさを見つけよう」

4年生　「働く人への差別を許さない」（職業差別）

5年生　「差別を許さないわたしになるために」（新潟水俣病）

6年生　「身近にある差別意識」（同和教育を学ぶ意義）

学習参観後、体育館で「古河邦子先生」による講演会を行いました。「共に生きてこそ幸せ」という演題で、新井中央小学校の取組や、全学級で授業公開していることを評価され、「同和教育を一生懸命やる学校は、みんながやさしくなれる学校」と話されました。後半は、先生が中学校の教師をされていた時に出会ったＡさんとクラスの子どもたちのかかわりの中で、子どもたちが変わり、「子どもは大したもの。一人一人の生徒と、とことんつき合うことが大事だ」と実感されたお話や、御自身の結婚にかかわる体験、受けた差別の様子などを語られ、御夫婦で、そして、仲間の方々と差別のない町づくりを進めてこられてきたことを話していただきました。

皆さまからいただいた御意見、御感想をもとに、今後も、人権教育、同和教育を進め、「自分もみんなも、明るくうれしく　よかったね」と言える子どもたちを育てていきたいと思います。

※そのほかの活動の様子については、学校ホームページをぜひご覧ください。

文化祭について

1　自家用車の駐車場について

運動会の時にもお知らせしましたが、駐車場は狭く、当日は業者の車両も出入りしますので、駐車場案内をご覧になり指定場所に駐車するか、できるだけ自家用車を使わずにご来校くださるようにお願いします。

2　履き物について

学校にもスリッパがありますが、数が足りません。**スリッパ等、履き物を必ずご用意ください。**なお、保護者の方でＰＴＡ役員の方は、転倒防止等の意味もありますので、かかとのある上履きをご用意ください。

3　体育館の開場について

例年、早朝より体育館での場所取りを行う方がいますが、準備や児童の出入りに一部支障がありますので、学習発表会の体育館開場時刻は８時１５分からとさせていただきます。

※当日、中央小フェア（一品即売）が行われます。数は限られますが、地域の皆様もぜひおいでください。

10月～11月の主な予定

１０月１７日（月）PTA親子清掃活動　13:50～14:45
２１日（金）文化祭前日準日（給食なし）
・１年～４年11:45下校　５・６年15:00下校
・PTA役員文化祭準備13:00～
・PTA作品展、作品搬入（多くの方の出品をお待ちしています）
２４日（月）振り替え休業日
２６日（水）なかよしランチ（お弁当の日）
２８日（金）４年生PTC、ことばの学校「いのちの学校」
３１日（月）～ ２日（水）６年生宿泊体験学習（東京方面）

１１月２日（水）３年生PTC
７日（月）新井中学校区心のプロジェクト研修（給食後下校）
１０日（木）秋の読書旬刊　～２１日まで
１１日（金）妙高市音楽発表会（６年生参加）
１６日（水）フリー参観日
１７日（木）就学時検診（新一年生）
２１日（月）よい姿勢週間　～25日まで
２４日（木）学校保健委員会
２９日（火）個別懇談開始～12/2まで（詳細は11月にお知らせします）

お願い

学校プール側に歩道が設置された関係で、わくわくランド前の三叉路のところに、新しい横断歩道をつくっていただきました。これにあわせ、安全に歩行して登校するよう指導を行いましたが、地域の皆様からも危険な様子を見かけましたら、児童に声をかけていただきたいと思います。

よろしくお願いします。

鈴木せい子さんの「いのちの授業」

生まれてきてくれて ありがとう

◆日時◆　10月28日（金）14:15～15:45

◆会場◆　妙高市立新井中央小学校　体育館

あなたはすべての人たちの夢と希望
だから「生きているだけで百点満点」
ほんとうに「生まれてきてくれてありがとう」

4月24日の新潟日報に掲載された「生きようとする力」という詩の最後の文です。

この詩は、群馬県の助産師、鈴木せい子さんが書かれたものです。

鈴木さんは、30年以上にわたり、「いのち」に寄り添い、1000人以上の赤ちゃんを取り上げてきたベテランの助産師です。

現在、全国各地に出向き、「いのちの授業」を行っています。「いのち」が誕生する瞬間の感動を通じて、「生まれてくること」のすごさ、「生きていること」の素晴らしさを伝えてくれます。子どもたちの自己肯定感を高め、おうちの方の子どもへの愛情を高める、「いのち」の現場からのメッセージは大きな反響を呼び、今までに参加した人の数は10数万人に上ります。昨年、妙高市で講演され、先月、市内の中学生に講演されました。

この「いのちの授業」は、新潟日報社の「ことばの学校」事業として行われます。「ことばの学校」は、新潟日報社が創刊65周年記念事業として、2007年度から県内の数か校で実施しているもので、本年度、新井中央小学校で実施されます。

また、全日本社会貢献団体機構の助成事業にもなっています。

AJOSC
全日本社会貢献団体機構

4年生とおうちの方を中心にして行われますが、そのほかの学年のおうちの方や地域の皆様もご覧になれますので、ぜひおいでください。

大勢の皆様のおいでをお待ちしています！